

3 学級経営と学年経営

学校は、教育目標の具現化を計画的に行う。それを年間の教育活動に移していく場を、主として学級においている。したがって、学校経営は各学級における教育活動を進める学級経営を基盤として成り立っているといえる。

学校経営を学級経営に結びつける役割を担うのが学年経営である。また、同時に、学級経営を学校経営に結びつける役割ももつ。同じ学年の子どもには、教科経営において学年の指導計画をもとにした教育活動が展開され、特別活動における学校行事は同一学年以上の子どもの活動が原則である。子どもの発達段階においては共通した傾向や実態、経験などがあり、学年という広がりの中で教育活動や集団経営を含む生徒指導、保護者や地域への対応及び連携・協力などに共同で取り組むことで、その効果がより期待できる。

学校経営は組織としての取り組みなので、学校教育目標や経営方針などを学年の段階でしっかりと受け止め、さらに学級の日常の教育活動に浸透するように配慮することが重要である。

〔初研・新〕

ケーススタディ

●事例●

初任者は、学校・学年として立案されている教科指導については計画的に進められる傾向にありますが、学級担任の力量（教師力）が大きく左右する道徳や特別活動（学級活動の経営）、問題傾向をもつ子ども（保護者含む）への対応に不安が積みまわっているようです。

●一言アドバイス●

学年主任や指導教員の経営手腕がものをいう。学年経営の内容を明らかにし学年経営計画案を立て、年度始めはもとより計画的に学年会を開催する中で、学年内のことについては積極的に助言や情報交換することである。特に、生徒指導上の問題が発生したときは、最優先して対応に当たらなければならない。

学級内の人間関係を良好にするためには、子どもの自尊感情をはぐくみ、目標に向け自己実現を図る積極的な指導を行うことや、日常の問題を取り上げ解決に当たる指導にも注目させていきたい。

★ 学年会における学級担任の役割

各学級担任の参
画意識を高める

1 学年会の運営と学年主任の役割

学年主任の役割は、定期的に行われる校長の主催する運営委員会に参画する。学校運営の一翼を担い、学校運営が円滑にしかも効果的に学年に推し進めるよう働きかけることである。

また、学年経営においては、各学級における経営計画や実践をお互いに確認し合いながら充実するようリーダーシップを取る。各学級担任においても、学級運営にかかわる内容を共通理解することと学年内の運営内容を協議することにより、学年経営への参画意識が高まる。学年会の運営は、学年内の学級担任が中心になるが、初任者が所属する場合は、指導教員が参加する場合もあるし、音楽や図工などの専科教師等を要請することもある。

会議内容を記録
に残す

なお、学年会を運営するには、事前に内容を知らせ、必要に応じて印刷物や関係資料を各学級担任に渡しておく。また、協議や確認内容は記録簿に残して教務部に報告し、運営委員会との連携を図る。

2 学年経営の内容と学級担任のかかわり

学年共同経営の
発想に立つ

学年経営は、学年内の協力体制のもと役割分担して行う。各学級担任の特性や専門性を生かし、学年共同経営の発想に立ちたい。

〈学年経営の役割〉

- 1 学年経営方針のもと学年目標の設定
- 2 学年・学級経営計画（案）の検討，作成，実施，評価
- 3 学年事務（使用教材，学年内の庶務や会計等）の役割分担
- 4 各教科，道徳，外国語活動，特別活動，総合的な学習の時間の指導計画の確認と実施
- 5 学年の生徒指導の内容と指導の充実
- 6 学年行事（学校行事やPTA主催行事含む）の計画と実施
- 7 学年・学級集団づくりの指導
- 8 教室の学習・生活環境づくりの計画と実施
- 9 教材研究，週指導案の作成と指導実施時数の確認
- 10 諸検査，諸調査の計画と実施，分析，活用等
- 11 校内課題研修，出張の参加，報告
- 12 保護者や地域との連携（教育活動支援ボランティア含む）

〔初研・新〕

★ 指導のポイント

〔初研・新〕

学級王国をつくらない

相互援助による経営

人間関係をつくる力が問われている

めあての共有化

手立ての共有化

役割と責任をもつ

計画から修正の仕方の習得

1 協力的な指導体制をとり、教師間の連携を深める

学級担任の独自性や個性的な経営に固執するようなことになると、学級は閉鎖的な学級王国に陥りやすい。

学年の発達段階にもよるが、小学校の場合でも教科担任制やティーム・ティーチングを導入したり、音楽や図工のような教科では専科教師が指導したりして専門性を生かす。そして、学習効果を上げる教材・教具などの準備や開発などは、学年の教師個々の特性を生かし合いながら相互援助の経営を実現することが必要である。

昨今は、何かにつけて保護者からの要望（クレーム）が増えて対応に苦慮する傾向があるが、その対応には学年主任の助言を得るなど複数の教師で当たるようにするとよい。

2 日常の教育活動の中で計画的に集団経営を行う

子どもの生活体験や社会体験の不足とあいまって、子どもどうしの人間関係をつくる力が問われている。いじめや不登校等、学級がうまく機能しなくなる状況も人間関係がうまく結べない子どもが増えていることが一因といわれる。

学年で行う集団活動はもちろん、学級内の集団活動についても学年間で協力体制をとるようにする。

学級内では、教科でのグループ学習や係活動、当番活動など、小集団による活動が定期的、継続的に行われている。これらのグループ活動を自主的に運営するには、次のような手立てが必要である。

- メンバー間で活動のめあてを話し合い、共通理解を図る。
(メンバー一人一人の声を反映をさせ決定する)
- めあてを達成するための具体的な手立てを決める。
(何のために・いつ・何処で・どんな活動をするのか)
- 一人一人が役割を持ち責任をもって実行する。
(本人の意思を尊重し、メンバー間の承認を得る)
- マネジメント・サイクルを習得する。
(定期的に計画・実行・振り返り・計画修正を行う)

関連情報

◎初任者に向けた指導

- スタートブック
小学校版
「学級経営と学年のかかわり」
中・高等学校版
「学級経営と学年のかかわり」
- WEB
「学級経営と学年経営の関係について教えてください。」
「学級担任と学年主任との関係をどう考えたらよいでしょうか。」
「学年・学級経営と学校経営との結びつきをどう強めたらよいでしょうか。」

◎参考

- 文部省『小学校生徒指導資料6 生徒指導をめぐる学級経営上の諸問題』（平成元年3月）
- 国立教育政策研究所『「学級運営等の在り方についての調査研究」報告書』（平成17年3月）
<http://www.nier.go.jp/shido/centerhp/index.htm>
- 中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について（答申）」（平成20年1月）
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/news/20080117.pdf
- 文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別活動編』（平成20年8月）
- 文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別活動編』（平成20年9月）

◎関係法令等

- 小学校学習指導要領（平成20年3月28日告示第27号）
第6章 特別活動 第3 指導計画の作成と内容の取扱い
- 中学校学習指導要領（平成20年3月28日告示第28号）
第5章 特別活動 第3 指導計画の作成と内容の取扱い

〔初研・新〕